



2025年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社セルム
代表者名 代表取締役社長 加島 禎二
(コード：7367、スタンダード)
問合せ先 取締役 吉富 敏雄
(TEL. 03-3440-2003)

資本政策の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り資本政策の変更を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、企業価値を拡大し、株主の皆様に対する利益還元を行うことを重要な経営課題であるという認識のもと、利益成長と規律ある資本政策に取り組んでまいりました。今後、当社の成長戦略の軸である M&A や戦略的投資を実施する際、一過性の損益等が生じた場合の配当の取り扱いにつき、安定的配当の継続を優先する方針を明確化するため、以下の変更を加えております。

2. 資本政策の変更内容

変更箇所については下線を付しております。

変更前	変更後
<p>当社は、財務レバレッジの活用を前提とした M&A を含む投資戦略を実行し、持続的な利益成長や企業価値向上を実現することが、株主の皆様への期待に応えることになると考えています。</p> <p>そのために必要な内部留保を確保した上で、配当性向として 40%から 50%程度を基準とした安定的かつ継続的な配当を行い、2029 年 3 月期終了時の目標 ROE（自己資本利益率）として 25%以上の水準の資本効率性を勘案しながら、株主還元の充実を図ってまいり</p>	<p>当社は、財務レバレッジの活用を前提とした M&A を含む投資戦略を実行し、持続的な利益成長や企業価値向上を実現することが、株主の皆様への期待に応えることになると考えています。</p> <p>そのために必要な内部留保を確保した上で、配当性向として 40%から 50%程度を基準とした安定的かつ継続的な配当を行い、2029 年 3 月期終了時の目標 ROE（自己資本利益率）として 25%以上の水準の資本効率性を勘案しながら、株主還元の充実を図ってまいり</p>

<p>ます。</p> <p>なお、長期にわたり留保された余剰資金については、市場環境や財務の状況を踏まえた上で、自己株式取得の実施の是非につき株主還元、M&A の対価、人材獲得、従業員インセンティブ等の観点から機動的に検討し、株主の皆様へ還元していきます。</p>	<p>ます。<u>なお、M&A や戦略的投資などの特殊要因により、一過性の損益として親会社株主に帰属する当期純利益が変動する場合は、その影響を除いた水準を総合勘案し、安定的配当の実施を優先します。</u></p> <p>なお、長期にわたり留保された余剰資金については、市場環境や財務の状況を踏まえた上で、自己株式取得の実施の是非につき株主還元、M&A の対価、人材獲得、従業員インセンティブ等の観点から機動的に検討し、株主の皆様へ還元していきます。</p>
--	--

3. 変更時期

2025 年 3 月期より適用いたします。

以上